

# 宮城県石巻市・震災復興学習支援 レポートNo.37

## 石巻 出前寺子屋「検定合格講座」

### ◆活動報告その37 [2013年1月13日]

#### 復興に三陸沖の初日かな(酒肴)

平成25年の新年を迎えての初めてのスクーリングを、1月13日に実施した。出前寺子屋活動も足かけ3年目に入り、スクーリングは回を重ねて37回目となる。今回の東北大生の支援スタッフは、昨年9月以来となる修士1年の永迫理奈さん、それに初めての参加は同学年の高橋晴香さんである。彼女は永迫さんと同じ研究室に属し、彼女もまた英文学を専攻しており、英検指導には心強い人材である。

9時45分、仙台駅西口の駅レンタカーで待ち合わせる。今回は車を走らせての石巻行きである。幸いにも晴天にも恵まれ、雪道走行の心配もないので楽な行程となりそうだ。車中で事故、否、自己紹介をすませ、和枝さんがこれまでの活動の経緯とこの日の活動内容を説明する。高橋さんは初めての参加なのだが、同期生の永迫さんが同行しているせいもあり、すぐに和まれたようだ。車は快調に進み予定より15分ほど早く11時前に、三陸自動車道の石巻港出口から市内に入る。

高橋さんが初めての石巻訪問ということなので、門脇小学校と日和山公園、それに中洲の石森漫画館を案内することとする。こういう機会に石巻の主だったところの、震災後2年を迎える現状を見てもらうことは、とても大切なことだと思う。漫画館は再開後2カ月を経るのだが、この日は好天の祝日とあってけっこうな人出であった。かすかながらも復興の足音が聞えるようでうれしい。



門脇小学校で左より和枝、永迫、高橋さん、グラウンドで野球の練習をしている光景が新鮮だ。

午後12時40分、仮設開成団地ささえあい拠点センター集会所に入る。外気温は零度をきっているだろうか、石巻独特の浜風と川風が身を引き裂く。仮設団地はこれまでと変わらぬ無機質な風景をさらしている。集会所は職員のSさんがエアコンを目いっぱい入れておいていただいたせいで、戸外の寒さを忘れる快適さだ。この日は、いつも漢字指導をされている地元の佐久間先生が、腰を痛められたとかで欠席をされた。したがって本日の指導スタッフは、女性3名に男性は小生1名の女系一族である。当家の家族構成と同じなので、とりたててなんということもない。さあここで教室設営である。折りたたみテーブルを15本、椅子30脚を並べる。ここが男の力の見せどころといきたいところだが、当方も還暦を過ぎた高齢者予備軍とあって、女性軍の加勢で無事難所を乗り越えることができた。

午後1時を過ぎると英検4級講座組が入室し始める。1時20分定刻で和枝先生指導の英検講座が始まる。高橋さんが補助に入る。このころから漢検組も徐々に出席者が増えてくる。2時にはほぼ全員がそろい、それぞれのテーマにそった学習を進める。英検指導の和枝先生の大きな声が響く中、漢検組は皆さんただ黙々とエンピツを走らせている。

2時30分、全体集会を開く。支援スタッフの自己紹介と事務連絡を終わらせ、東京から持参したお年賀代わりのお菓子(東京バナナ)をお配りする。28個用意したのだが、みごと27個がはけ出席者27名を確認した。内訳は漢検組20名、英検組9名、高校大学受験組4名、漢検・英検の重複者がいるので延べ人数は33名となる。この数はここ数カ月では最多となった。2時45分、後半の学習時間が始まる。漢検組は2月2日の準1級受検者2名、9日の2級以下の受検者8名を中心に、主に過去問題を使った模擬試験に取り組んでいた。その結果7割の方は合格ラインを越えていることを確認した。さて、初めての難関準1級合格者が生まれるか。おおいに期待されるところである。 報告:谷村志厚

#### リスニング力の養成が今後の課題か

午後1時20分、英検4級講座が始まる。開始間際にAさんが入室する。Aさんは床に正座をして、三つ指をついて、「先生、今年もよろしくお願いいたします」と言って、頭を深々と下げた。少し驚きはしたが、彼女と同年齢の私はうれしくなって、急いで正座をし、返礼をした。

礼儀正しい石巻の人に接して、気分よく英検過去問題のリスニングが始まった。しかし、リスニング問題では気分とは裏腹に皆の悪戦苦闘が続出した。東北大生の高橋さんが機敏にリスニング機材を操作してくれたのだが、誤答や沈黙(答えがわからないための)が次々に出現したのである。その後、「過去時制の動詞」という文法領域に学習が移ると、皆の理解はスムーズになっていった。この落差は大きいと私(谷村和枝)は感じた。こうして、リスニング力が皆の課題であることが判明して、4級講

### 石巻 出前寺子屋 「検定合格講座」の仕組み

- 活動期間：第Ⅰ期 2011年8月16日～2012年2月4日  
 第Ⅱ期 2012年2月19日～6月17日  
 第Ⅲ期 2012年6月16日～11月10日  
 第Ⅳ期 2012年11月24日～2013年2月9日

#### ①スクーリングの実績と予定(漢検・英検学習)

2011年8月16日、9月4日、18日、10月2日、16日、11月5日、20日、12月11日、24日、2012年1月8日、22日、2月4日、19日、3月4日、18日、4月1日、15日、29日、5月13日、27日、6月2日、9日、17日、7月1日、22日、8月5日、26日、9月9日、23日、10月7日、13日、21日、11月10日、25日、12月9日、23日、2013年1月13日、26日、2月9日、24日、3月10日

#### ②会場 仮設開成ささえあい拠点センター集会所

#### ③検定受検(第Ⅳ期)

平成24年度第3回英検2013年1月26日

平成24年度第3回漢字2013年2月9日(2月2日・公開会場)

#### ④受講対象者 仮設住宅、借上げ住宅等に居住する被災市民

#### ⑤受講者特典 教材費・スクーリング受講費・検定料の全額が無料



この日の出席者は延べ33名、実質27名とここ数カ月では最多であった。前方は漢検組、後方は英検4級組、この写真の手前には英検3級組のコーナーがある。

座の授業は終わった。

全体集会の後、2時50分に高校受験対策の中学3年生英語講座が始まった。動名詞・不定詞応用・関係代名詞・分詞の学習領域を70分の授業で、しかも、受験対応でこなさなければならなかった。ここで求められたのは、指導者としての私の力量であった。私に力量があるのか、ないのかは3人の前期・後期の受検結果で出てくるのであろう。そして、次回の出前寺子屋も、英検の本番試験がある。一段と寒さが厳しくなる1月26日に次回の出前寺子屋は開催される。 報告:谷村和枝

過去3回の漢字検定実績・58名受検中合格者52名  
 2級-13名、準2級-14名、3級-12名、4級-4名、5級-4名、  
 6級-3名、7級-2名 (小中学生16名、一般36名)

英語検定実績・12名受検中合格者11名  
 準2級-1名、3級-3名(準2・3級とも1.2次完全合格者)  
 4級-4名、5級-3名 (小中高生8名、一般3名)

### ご支援ありがとうございます

当活動は活動参加者個人の負担と、ご援助をいただく皆さんの浄財で運営しています。第Ⅲ期活動からは日本キリスト教協議会・震災対策室および東北ヘルプ(第Ⅱ期から継続)から活動資金支援をいただいています。

主管:AIM学習セミナー(私塾ネット会員・松戸市)  
 後援:全日本私塾教育ネットワーク(略称・私塾ネット)  
 支援:日本キリスト教協議会・震災対策室(JEDRO)